



FLトクヤマは“漆喰の化学”をベースにお客様の空間の質的な向上に貢献します。

自然素材の内装材

Shikkui Lemarge

漆喰ルマーージュ

漆喰ルマーージュは、古来より使われてきた自然素材の漆喰を乾式工法で再現したシートタイプの内装材です。

漆喰は日本では調度品等をカビから守る白壁の蔵に、そしてヨーロッパでは疫病の予防を目的に漆喰の抗菌力を建築環境に取り入れてきた歴史があります。

防カビ

漆喰の内部はアルカリ性です。そのためカビの発生を強力に抑えることができます。現在でも酒、ワイン、味噌、醤油などの醸造所や蔵では、不要な菌類が繁殖しないように、壁を漆喰にしているところが数多くあります。フランスやイタリアのワインセラー(貯蔵所)にも漆喰の塗り壁が見られます。

吸放湿性

漆喰の表面は微多孔質な構造のため、湿度が高い時は湿気を吸い取り、乾燥時には水分を放出しようとする性質があります。この性質は天然木材と同様、空間を快適な状態に調整してくれます。

新しい工法

漆喰ルマーージュは、壁紙と同じように糊を付け、壁や天井に施工します。壁や天井に施工したところで空気と触れ、空気中の二酸化炭素と再び化学反応がスタートし、施工1日後には実用強度に達します。その後、約1ヵ月で化学反応率が90%となり、鉛筆硬度でH程度の硬さになります。

エコリフォームを実現

将来のリフォームでは適度な吸水性を持った丈夫な下地となって、剥がさずに常に石膏ボードを保護しながら、再度漆喰ルマーージュまたは塗装仕上げ、壁紙、左官材料などの内装材の施行が可能となります。